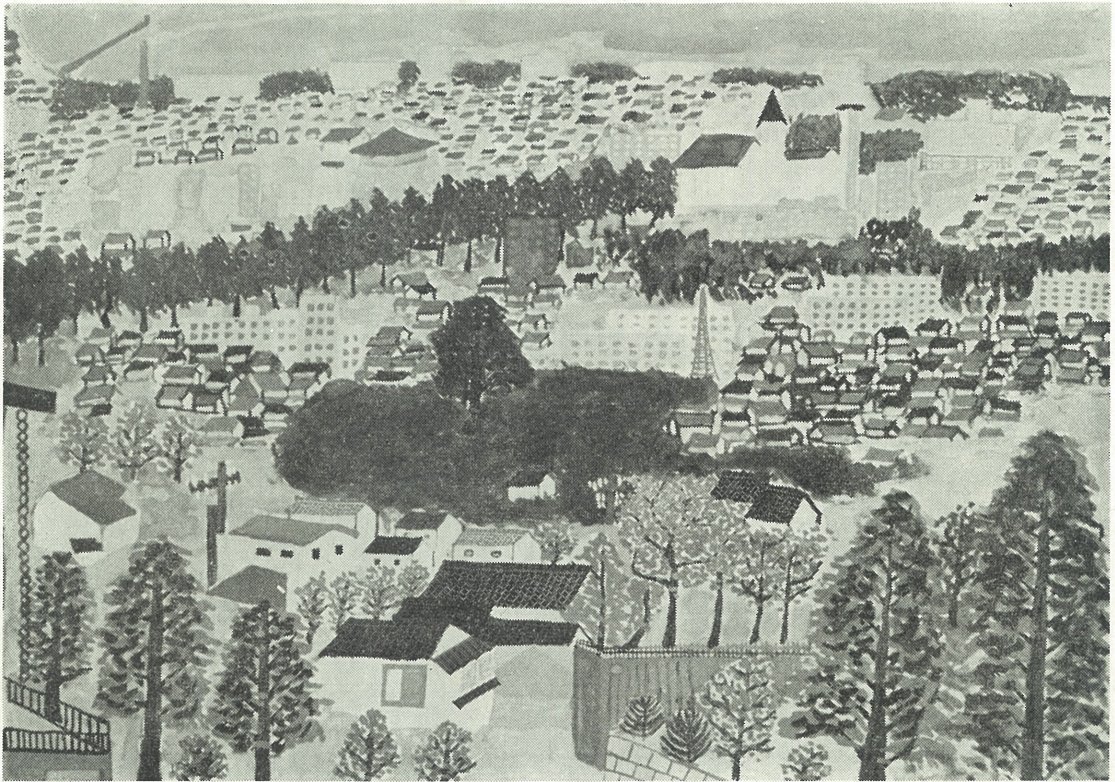


広報あしや

発行所 芦屋市役所
 発行人 芦屋市長
 編集 公聴広報課
 印刷所 高輪印刷K.K

第1号 昭和42年5月20日発行 小学校3年生～中学校3年生用

《每学期発行》



山手中学校3年 井上 美喜恵 さんの作品

(とじて保存しておきましょう)

▷ 芦屋市民憲章 ◁

わたくしたち芦屋市民は

- 文化の高い教養豊かなまちをきざしましょう
- 自然の風物を楽しみ、まちを緑と花でつつみましょう
- 青少年の夢と希望をすこやかに育てましょう
- 健康で明るく幸福なまちをつくりましょう
- 災害や公害のない清潔で安全なまちにしましょう

5月1日現在の推計人口

総数	64,784人
男	31,414人
女	33,370人
世帯数	17,509世帯
市の面積	16.07 km ²

学
園
広
場

本
職
訪
問

朝日放送
テレビ

野
外
へ
と
び
出
せ

東おたふく山回遊コース

市
議
会
議
員
の
は
た
ら
き

郷
土
を
知
ろ
う

数字があらわす芦屋の特長

本号のおもな内容

.....
8	7	6	4	2

あなたも、わたしも芦屋市民です。わたしたちの
 住む芦屋は、^{こくさいぶんかじゆうたくとし}国際文化住宅都市として全国に知られて
 います。また、芦屋に来る人たちもみな「芦屋は
 すばらしいまちだ」といいます。でも、^{あんがい}案外、芦屋
 市民であるわたしたちは、芦屋について知らないこ
 とが多いのではないでしょう。

そこで、人口を中心に、わたしたちのまち芦屋を
 みてみました。



郷土を知ろう………国勢調査結果からみた芦屋

数字があらわす芦屋の特長

いつごろから 芦屋に人が

芦屋に人が住み始めたのはいつた
 いいつごろなのでしょう。

今からおよそ六千年もむかしに、
 はや芦屋には人が住んでいたことが
 市内で見つかった縄文式の土器や石
 器でわかっています。山手中学校の
 うらで発見されたむかしの人の生活
 あと「会下山遺跡」をはじめ、六麓
 荘町、岩園町、朝日ヶ丘町では古墳

人口のうつりかわり

年次	人 口			世帯数	備 考
	総 数	男	女		
明治22年	3,285			597	村制施行
32	3,426			630	
42	3,904			762	
大正3年	5,298			1,131	
9	11,151			2,269	
14	19,101			3,886	
昭和5年	28,731	13,302	15,429	5,708	
10	35,715	17,082	18,633	6,979	
15	41,925	20,343	21,582	8,147	市制施行
20	31,098	15,300	15,798	7,086	
25	42,951	21,493	21,458	9,785	国勢調査
30	50,960	25,030	25,930	11,588	・
35	57,050	27,894	29,156	14,221	・
40	63,195	30,687	32,508	17,046	・
41	63,873	30,932	32,941	17,429	

もたくさん見つかっています。

こうして、芦屋は早くから開け、
 京都、大阪という文化の中心にあつ
 た都市を近くにもって、発展してき
 たのです。

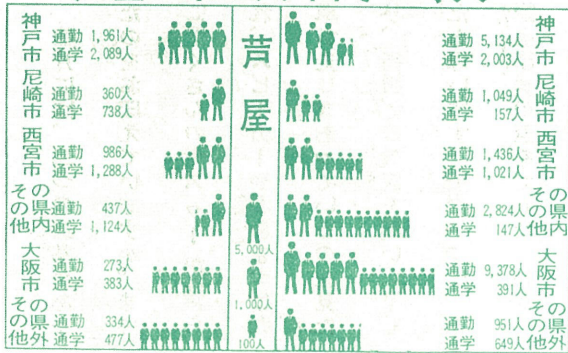
でも、住宅都市として、人口がふ
 え、開けてきたのは、明治の終わり
 から大正にかけてなのです。明治の
 終わりに三千人台だった人口は、大
 正三年に五千人をこえ、九年には一
 万人をこえました。これは明治三十
 八年の阪神電車の開通をはじめ、四
 十一年に電燈がついたこと、大正元

年にガスがついたこと、二年に国鉄
 芦屋駅ができたこと、九年に阪急電
 車が開通したことなど、このころに
 交通機関や文化が急速に発達したか
 らです。それから、第二次世界大戦
 中のほかはほとんど人口がふえ、昭
 和三十八年に六万人をこえました。
 では、これから、いまの芦屋の人
 口のようすを、もう少ししくわしくみ
 てみましょう。

上りホームが 混雑するのは

国勢調査というのがあります。こ
 れは、五年ごとに日本の人口のよう
 すを知るため、全国でいっせいに
 なされる調査で、人口や人口密度、通
 勤や通学している人のようす、人々
 がどんなしごとをしているかなどが
 わかります。昭和四十年十月一日の
 国勢調査の結果では、芦屋市の総人
 口は六万三千九十五人、面積十六
 ・〇七平方キロメートル、人口密度

芦屋へ来る人 出ていく人



三千九百三十二人となっています。そして、全人口の三十五・八%にあたる二万二千六百五十四人が市外に通勤、通学しています。ですから、三分の一以上の市民が昼間は芦屋から出ていっていることとなります。こんな高い割合で市外に出ていく人があるのは、兵庫県では芦屋が一番です。続いて川西市の三十四%、宝塚市の三十一%の順で、県全体の平

均はおよそ十四%になっています。

通勤や通学する人の行き先は、上のグラフのように東の大阪、尼崎、伊丹、西宮、宝塚へは一万三千七百六十四人、西の神戸、姫路、明石へは七千二百三十一人と、だいたい二対一の割合にわかれています。これで、毎朝市内の各駅のプラットフォームは上りの方が混雑しているのもわかります。

どんな職業の市民が多いか

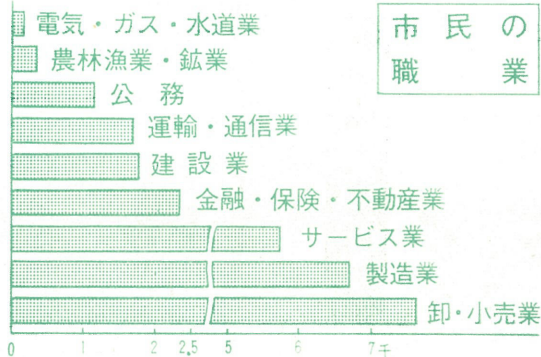
次に市民のしごとについてみてみましょう。総人口のうち、中学生以下の人、中学生以上で学校へ行っている人、家事をしている人、病人、老人などのほかの二万七千人がしごとのできる人になります。この内訳は下のグラフのとおりです。一番多いのは、おろし・小売業の七千六百五十八人、続いて製造業、サービス業の順で、少ないのは鉱業の十五

人、林業・しゆりょう業の二十三人、漁業・水産養しよく業の五十二人などです。これを産業別に大きくわけると、農林漁業や鉱業など天然資源をとる一次産業が1%、製造業などものを加工する二次産業が三十二%、サービス業、運輸業、商業などものを売り買ひしたり運んだりする三次産業が六十三%と高度の産業ほど割合が高くなっています。また、職業別にみても、事務をとる人、技師、重役など社会の第一線で活躍している人が、全体の半分もあります。このようなことも、他都市にみられない特長で、芦屋が高級住宅地だといわれる理由の一つです。

山と海にのびるまち

芦屋市を人口の面からいろいろとみてきましたが、わたしたちのまち芦屋市が住宅都市であることがわかりましたか。南に大阪湾、北に六甲

市民の職業



山がある美しい景色、雨の少ない瀬戸内式気候というめぐまれた自然。さらに、便利な交通機関、整った施設など、住宅都市としてのあらゆる条件もそなえています。ですから、もっともっとと人口はふえていくでしょう。そのため市では、いま「海面の埋立」「山地の開発」「下水道の完備」などの大事業に取り組んでいるのです。

四月には、二つの選挙があつたのをおぼえていますか。まちにたくさんのポスターが張られ、スピーカーや看板をつけた車が走りまわっているのを見たり、街頭での演説を聞いたりしたと思います。その一つは、市議会議員の選挙でした。市民が代表する三十人の議員を、市民が選挙してえらんだのですが、

のはたらき

どうしてそんなことをするのか、市議会は何をするのか、それは何をしたいか、それらは何かあるのかを、これから考えてみましょう。

市民が選ぶ代表者

日本の政治は、国民自身が行うものです。芦屋の市政もまた、市民みずから行ないます。けっきょく、全市民で話しあつて意見をまとめ、まとまった考えを市政の中で実行するのです。でも、考えてみて下さい。芦屋には六万四千人以上の人が住んでいます。これだけの人が、たびたび集まって意見を出しあい、それをまとめるということはとてもできないことがわかるでしょう。そこで、選挙をして代表をきめ、芦屋に住んでいる人たちのねがいにあつた政治をします。これが地方自治です。選挙のとき、ターミナルなどで演説をしたり、ほうほうにポスターが張つてあつたのは、立候補した人が自分の考えをみんなに知ってもらうためです。投票する人はそれをよく聞き、自分のねがいにあつた政治をするのにびつたりした、市民のかわりになつて意見をいう人として、ま

た全市民の代表としてりつばな人を選ぶ手がかりとするためです。

芦屋の議員は三十人

さて、四月二十八日の選挙でできた新しい市議会議員は、向こう四年間、市政の中で実行しなければならぬたいせつなとりきめをします。それらのしごとをする議員の数は、地方自治法という法律で、人口五万以上十五万未満の市は三十六人と定められています。芦屋の人口は約六万四千人ですから、このきまりにあてはまり、三十六人の議員をおくことができるのです。しかし芦屋は条例によってこれより六人へらしていますから、芦屋市の議員定数は三十人となっています。

話しあつてきめる

法律とか、条例とかのことが出ましたね。法律は国会でつくられ、

市議会のしごと

国の政治はその法にもついで行なわれるとともに、国民もその法にしたがわなければなりません。条例はある地域にだけ効力をもつ法律と考ればよいのです。市税のこと、市民会館や地区集会所など公共のたてものなどの使用料のこと、市立の学校や幼稚園のことなど、ひとくちに言えば市民の権利と義務についてのきまりが条例です。芦屋市の条例は百二十ほどありますが、これらは全部、市民代表の三十人の議員による芦屋市議会でじゅうぶん話しあひ、意見を出しあつてつくられたものです。芦屋市の政治はそれらの条例にもついで行なわれているだけでなく、市民もその条例にしたがわなければなりません。

市議会のしごとについては、やはり地方自治法の中に定められています。そのうちおもなものをあげます

市議会議員

と、条例をつくつたり改めたり、とりやめしたりするほか、予算をきめること、決算を認めることなどです。そのための本会議は、

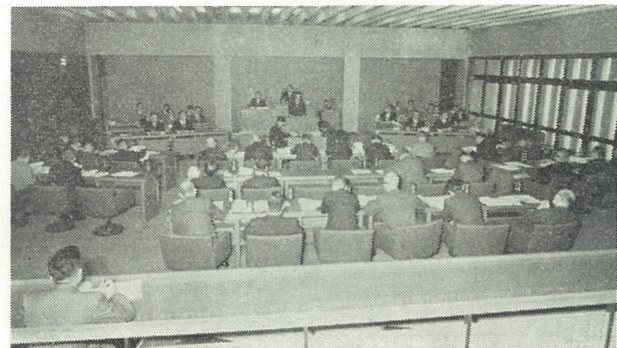
年四回の定例会と、必要があるときに開かれる臨時会とがありま

市役所のしごと

ころ（議決機関）であることがわかったと思います。それならいっぽうに、市議会できまったことを実行するところ（執行機関）がなければなりません。つぎは、そのお話をしましょう。

市議会できめたことを、やはり市議会で決定した予算にしたがつて、計画的に実行していくところが市役所で、その最高の責任者は市長で

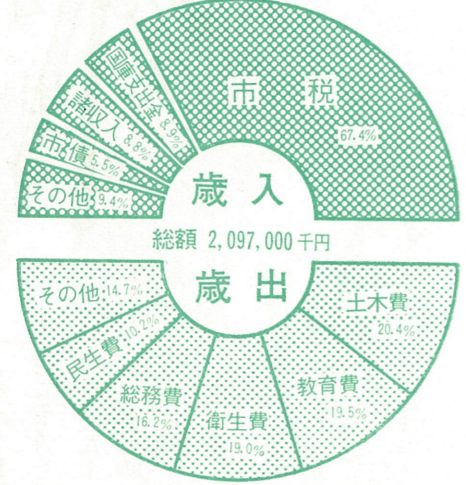
す。市長もまた、議員と同じように市民の選挙で選ばれ、助役、収入役、そのほか大ぜいの市職員とともにいろいろなしごとをしています。そのしごとは、芦屋をいっそう住みよいまちに、市民のしあわせを守るためのもので、六万市民の毎日の生活に深いつながりをもったことばかりです。また、芦屋市には、教育に



市議会の本会議（手前はぼうちよう席）

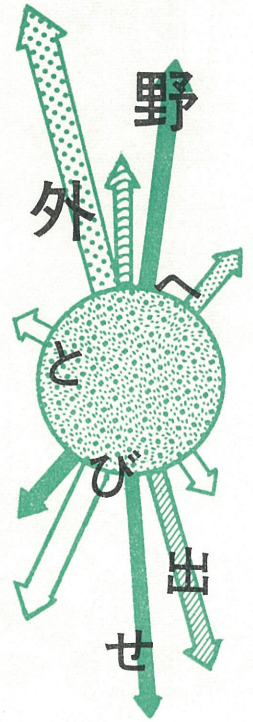
回の本会議が開かれました。また、議会には総務、文教、民生、建設の四つの常任委員会がおかれていて、三十人の議員はそれぞれ別の委員会の委員でもあります。一つの委員会は七人か八人くらいの少数で、能率よく、自由に質問や意見を出しあえますから、くわしい資料を集めたり、専門的に調べたりしなければならぬことがらは、委員会できゅうぶん話しあつたあと、本会議できめます。このように市議会は、市民の意見をたいせつにししながら民主的にいろいろのとりきめをする

昭和42年度の市の予算（一般会計）



市、川西市、猪名川町の六市一町でつくりつて

市との「神戸・芦屋都市行政協議会」は、おたがいに共同してしごとをしたり、共通した問題を研究したりしながら、おたがいに都市の発展に役立っています。消防署のしごと、六市一町や神戸市と応援のとりきめを結んで、とくに大きな火事や水害、市の境界付近で起こった災害のときにたすけあつているのです。



五月は一年のうちで気候がいちばんよいときです。外に出て、自然の中を家族そろって歩きましょう。

東おたふく山にのぼってみよう



へは、芦有バスで「東お多福登山口」まで行きます。ここは、芦屋と有馬を結ぶ有料道路へはいつて最初の停留所です。ここでバスをおりるとハイキングコースの案内板があります

歩きやすい東お多福山回遊コース(道のり)四キロメートル

から、そのとおりに歩いてください。ウグイスのさえずりが聞こえてきます。セキレイもいます。草むらからキジが飛びたつておどろかさされることもあります。芦屋の山が属している六甲山一帯は、鳥を取ったり殺したりするの禁止されている区域です。それに市役所などが小さなキジを放したり、木の巣箱を作ったりして保護しています

市内のハイキングコース



すから、小鳥たちは、自由にのびのびと生活しています。

こんな中を四十分ほど登って行くのと、すぐ東お多福山の頂上に着きます。海拔六百九十五メートルの山頂からは、西に神戸市の工場地帯、東に西宮市、さらに尼崎市の工場地帯、空気がすんでいと生駒山まで見えます。すぐ目の下には奥池と芦屋ユースホテル、ユネスコ会館があります。まわりの山はみな、松などの大きな木が茂っているのに、東お多福山だけはササしかはえていません

ハイキングはこうして

- ◆ むねを張って、げんきに歩きましょう
・登り坂はゆっくりと、休まずに
・下りは走らず、1歩1歩確実に
- ◆ つかれきらないうちに、少しのあいだ休けいしましょう
- ◆ 厚着や水のみみすぎはやめて、あせをかかないようにしましょう
- ◆ はきなれたくつをはきましょう
- ◆ 時間に余裕のある計画をたてましょう

せん。そのうえ、なだらかな山です。から、おべんとうをたべるのにこうつこうです。

帰り道は、下り坂ばかりです。すこし前まで、白い小さなつりがねのような花をつけたアセビの木や、つじがさいていた道を二十分ほど歩くと、もとのバス停留所へ帰ってきます。

このコースのほかには、市内には、小学生の人にも歩きやすいハイキングコースがいくつかあります。野外へ出て、歩きながら芦屋の自然を勉強してはいかがですか。

ぼくたちの学校にもこんなカメラがあったら……



本職訪問

午前九時、大阪のABCホールについて。中へはいったとたん、目の前いっぱい「てなもんや三度笠」のセットがひろがった。もうリハーサルが始まっている。演技をしているのは、テレビでよく見る俳優さんたちばかりだ。ぼくたちは、まずセットが想像以上に大がかりなものにおどろいた。セットの木や草は造花だと思っていたけれど全部本物だし、舞台に散らばっているかれ葉も買ってくるのだそうだ。テレビカメラを四台も使い、いろいろな角度からうつ

ぼくたちの学校では、テレビ放送活動がさかんです。このあいだ、精道町に住んでおられるテレビ・ディレクターの沢田隆治さんに案内されて、朝日放送テレビを訪問しました。

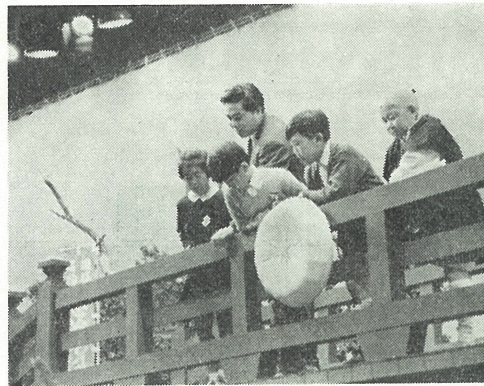
(精道小学校六年 松本康一、多木昭雄、石川まり子)

している。音楽は、前日にこのホールで録音したテープを使うから楽団はいない。俳優さんがげきの中で歌うときは、そのテープの音楽にあわせて口をバクバクとあけしめしているだけ。舞台で動きながら歌うとマイクの関係で声ははりにくいからそうするのだと、沢田

さんが説明してくださった。

午前九時半、ひととおりリハーサルがすんでから、ぼくたちは実際にセットの中へはいって見せてもらった。頭があたりかくなるほど、たくさんライトがついている。テレビカメラでのごくと、セットのけしきはいつそう本物のように見える。カメラを動かしてみると、上下左右、前進後進がハンドルで軽く自由にでき、クローズアップ(大う

セットで説明してくださる沢田さんもレギュラーの白木みのるさんも芦屋市民だ



つし)も手もとで簡単に操作できる。上下、左右をさかさまにする装置もカメラの中にくまれている。おもしろくてカメラから離れられなかった。

午前十時二十分、カメラリハーサルが始まる。ぼくたちは、舞台と反対がわの高いところにある副調整室へ案内された。何台も並んだモニターテレビで、舞台のようすが手にとるようにわかり、そこにすわったままであちこちと話してできる。まるで特等部のような。左側には、大きなテープレコーダーやレコーダープレイヤーがずらりと並び、右手には照

明のライトを操作する機械があって、それぞれ係の人がいる。カメラリハーサルというのは、本番とまったく同じことをするので、ものすごくきんちょうした空気になる。四台のカメラでうつし出された画面が、沢田さんの合図ひとつで次々に切りかわっていく。見ていてもつかれるぐらいだった。

正午、開場の時刻になり、大ぜいのお客様がなだれこんできた。本番の間、ぼくたちもそのお客さんたちといっしょに拍手をしたり、笑ったりしながら見たが、リハーサル中に見ていたのとはまったくちがうものを見るような気がした。

午後一時、ビデオ室でさっき録画したばかりののを見せよう。今度、家のテレビで見るときは、これと同じものがうつるわけだ。もう少し音楽をいれるしごとが残っているそうで、沢田さんは作曲家の先生と打ちあわせをし、ストップウォッチで時間をはかっておられた。こうしてぼくたちは、ひとつの番組ができるまでを見たが、画面にはうつらないで、かげで苦労している人たちも、たくさんいることがよくわかった。ほかに、放送局内のいろんな設備、機械、道具を見ただけで、ぼくらの学校にもこれほど設備があったらなあ、つくづく思う。

一人一鉢運動

宮川小学校

「一人一鉢、花
いっぱい運動」を
します。

一年はあさが
お、二年はほうせ
んか、三年はまつ
ばぼたん、四年は
サルビア、五年と
六年は菊というよ
うに、学年によっ

て花の種類しゆるいがわかれています。
そして、五年と六年の菊はけん
がいといつてたくさんけいかくの菊がた
れさがって咲くようにする計画
もありです。花でうずまいた学
校、楽しいでしょうね。



みんなで持ちよった花の鉢

「私の意見」を 朝会で発表

精道小学校

こんなことに気をつけたら、
こんなことはやめたいなど、も
っとわたしたちの学校をよくし
ようと、朝会で「私の意見」と
いう、全校発表をしています。

次の意見は、五年の女の子か
ら出た意見です。みなさんもも
ら一度考えてみましょう。

道にほろぎが落ち
ていました。一人は
ふんでいき、一人は
よけて通り、一人は
片すみに立てていき
ました。どの人がよ

いのかはだれでもわかりませ
でもこのように「ちよっと気を
つける」ということは、でき
そうでなかなか実行しにくい
ものです。もし実行できれば
どうでしょう。校内にはごみも
なくなり、美化はんの人たちの
ご苦労も少なくなります。まず
一人一人が実行し、ともだちに
クラスに、そして精小全部に広
がっていきけば、明るく楽しく
清潔な学校になりますね。

学園 広場



計画から実行までほくたちが

「タテとヨコを二
対三にせなあかん
で」「なんでや」「き
よ年そないならたも
ん」

いま、きよ年増築
した校舎の前で日の丸の形の花
だん作りが進んでいます。計画
から実行まで全部ほくたちの手
でしょうと、各学級からえらば
れた代表委員が相談し合って決
め、十人の計画委員が土をほり
返し、レンガでわくを作りまし
た。そして、中の丸には赤い花、
まわりには白い花が咲くように
たねをまきました。花が咲くま
でのこれからの手入れはたいへ
んですが、とても楽しみです。

町内グループで 仲良く、楽しく

山手小学校

学校でのクラスの仲間づくり
だけでなく、校外でも近所で仲
間づくりをしていこうと、全校
の生徒みんなが十人ぐらいつつ
の「町内小グループ」にはいっ
ています。

一年生から六年生まで、同じ
町内の近所の子が助け合って、
集団登校をしたり、公園の清掃
や道路やみぞをきれいにした
り、奉仕活動をしたりしていま
す。また、読書会やハイキング
などもします。みんなが、おに
いさん、おねえさん、おとうと、
いもう
とにな
ったよ
うにな
るよう
に、か
かよく、
楽しい
仲間づ
くりを
してい
るので
す。



行きも帰りもみんないっしょ

修学旅行

精道・山手両中学校の3
年生は、5月6日から9日
まで箱根・東京方面へ修学

旅行に行きました。みなさ
んも地図を広げて、コース
をたどってみてください。

【精道中のコース】 第1日 芦屋 → (わかば号) → 富士 → 白糸の滝 → 河口湖 (ホテル水明荘泊)
第2日 → (富士スカイライン) → 富士山五合目 → 山中湖(昼食) → 芦ノ湖遊覧 → 大涌谷(冠峰峰泊)
第3日 → 江ノ島、鎌倉 → 東京タワー(昼食) → 国会議事堂 → 皇居 → 羽田空港(夕食) → (都
内観光) → 東京駅 → (わかば号泊) 第4日 → 芦屋

【山手中のコース】 第1日 芦屋 → (わかば号) → 熱海 → 箱根小涌谷 (小涌園泊)
第2日 大涌谷 → 芦ノ湖遊覧 → 江ノ島(昼食) → 鎌倉 → 羽田空港 → 東京(都館泊)
第3日 → 皇居 → 国会議事堂 → 上野公園 → 浅草(昼食) → 国立競技場 → NHK放送センター
→ 東京タワー(夕食) → 東京駅 → (わかば号泊) 第4日 → 芦屋